



みみ

耳よい

いいメール

国立病院機構 相模原病院 広報誌
平成31年1月31日号
発行：国立病院機構 相模原病院
発行責任者：金田 悟郎
住 所：相模原市南区桜台18-1
電 話：042-742-8311 (代表)
F A X：042-742-5314

第79号



▲ アメリカ合衆国アリゾナ州北部にあるグランド・キャニオン 撮影：看護部 矢内 圭太

第79号 目次

- ◆ 「～ベビーマッサージ始めました～」…… 2
- ◆ 「災害訓練を実施しました」…… 3
- ◆ 「臨床検査科における
医療機器の共同利用について」…… 4
- ◆ 「腫瘍内科って何？」…… 6
- ◆ 「職員募集のご案内」…… 7

連載 近隣協力医療施設の紹介コーナー

相模原市 南区
「おおくさ泌尿器・内科クリニック」…… 8



SAGAMIHARA
NATIONAL
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの
人権を尊重し、
十分な説明と同意に基づ
き親切で心こもった医
療を提供します。

～ベビーマッサージ始めました～

2階北病棟

1月から公開講座の一つとしてベビーマッサージが始まりました。

産後2か月頃、育児に慣れると同時に、疲労感を感じたり、育児に悩みが生じてくる時期でもあります。お母さんがリラックスでき、赤ちゃんの成長や発達を促すベビーマッサージを開催し、お母さん同士の交流や、助産師への育児に対する悩みの相談の場にしていきたいと考えています。

<ベビーマッサージの目的は?>

スキンシップを通して

- ・赤ちゃんの心身の発達を促し、精神を安定させ、赤ちゃんとお母さん・お父さんの絆を深める
- ・親が育児への自信やゆとりが持てるようになる

<ベビーマッサージの効果は?>

- ・赤ちゃんの脳の発達を促したり、リラックスすることを覚え、ストレスが減らせる
- ・赤ちゃんの運動機能・内臓機能を高める
- ・母児双方のバーストラウマを癒す
- ・親の精神安定・安心感・育児への自信がつく
- ・皮膚を丈夫にし、免疫力を高めるなどと言われています。

<対象>

当院で出産した生後2か月から6か月までの赤ちゃんとお母さん

1回5組

月1回土曜日 午前・午後

案内は2北病棟、産婦人科外来、小児科外来、ホームページへ掲載する予定です

<注意点>

上のお子様は預けてきてください

予防接種後24時間以内の参加はご遠慮ください

<模擬開催をしてみて…こんな声をいただきました>

赤ちゃんとの触れ合い
ができてよかった

家でもできる
のでよかった

子供との遊び方がよく
わからなかったので
マッサージの仕方が
知れてよかった

スキンシップの機会
が持ててよかった

上の子にもやって
あげたいと思った

子供とのコミュニケーション
が取れて嬉しかった



ぜひ一緒にベビーマッサージをしましょう



災害訓練を実施しました

管理課長 古田 晴美

当院は、災害拠点病院に準ずる設備・機能を有する災害協力病院として、災害拠点病院のバックアップ体制に参加し、傷病者等を受入れるなどの医療救護活動を実施いたします。

また、今年度も9月2日(日)に開催された相模原市総合防災訓練に参加して、消防機関や他の医療機関等との連携を図り、救護活動訓練をいたしました。

今年度の当院の災害訓練は、災害発生時の対応向上・災害発生時の初動対応の周知を図ることを目的として10月13日(土)に実施し100人を超える職員が参加しました。

都心南部直下地震発生時の想定で、発生震度、その他の被害状況は不明とする中、災害対策本部は、本部立ち上げと院内の被害状況の把握、災害レベルの判定を行い、災害発生時の模擬傷病者の受け入れ訓練を行いました。

発災後、まず各職場の職員は、自身の安全確保を行い、周囲の人や物、避難経路の確認と確保を行った上で、まずは自身の職場内の患者さんの安全確認、医療ガスや電気、水等の被災状況の確認を行い、15分以内に本部に発災時報告をしました。



各職場では引き続き、病棟での患者さんや面会者の被災状況、空床状況、設備の損壊状況の把握をして患者受けの可否等を45分以内に本部に被災状況報告をしました。

本部は、各職場から集まる情報を元に災害レベルの判定を行い、被災患者の受け入れ開始を院内の職員へ宣言しました。

体育館に患者の受け入れエリアを設置、模擬患者が次々と来院してくる中、担当する職員は冷静にトリアージを行い、被災時に実施可能な診療機能を加味した治療を行いました。

訓練直後に実施した訓練振り返りでは、参加者全員が出席し、担当した部署ごとに活発な意見交換を行い、院内で共有することができました。

今回の訓練の目標である①災害マニュアルに基づいた発災時の初動対応がとれる。②マニュアルにおける問題点の洗い出し。は概ね達成できたと思います。

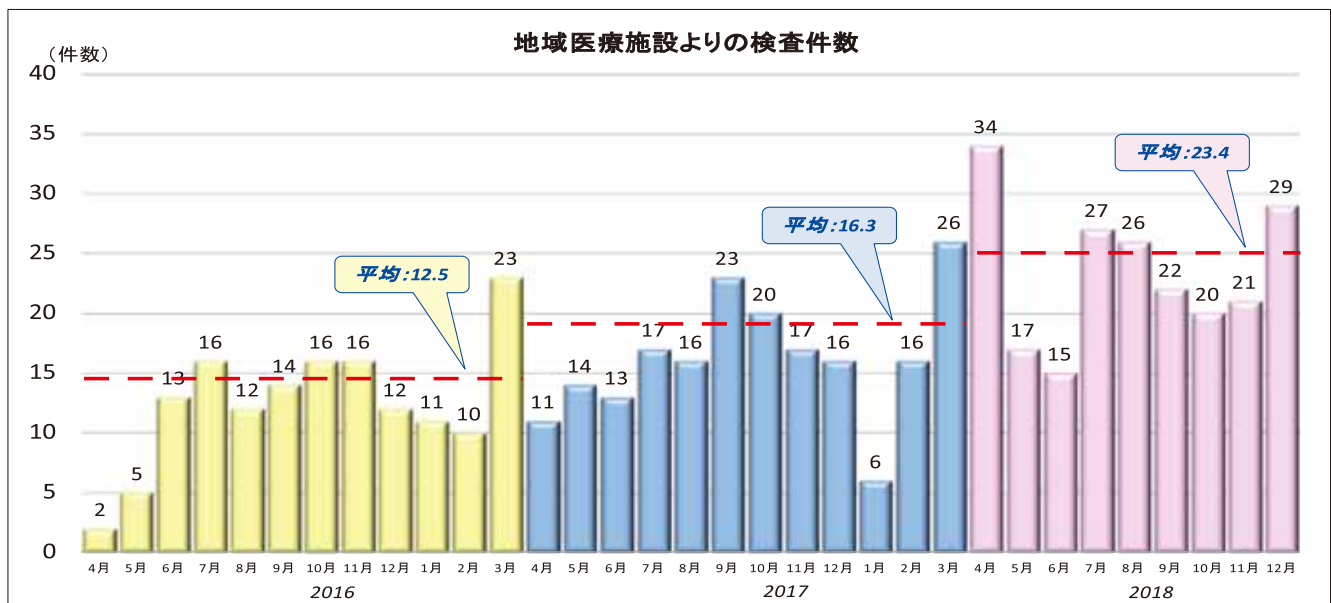
これからも災害訓練を通して、設備・機能の確認、傷病者の受け入れ体制を再認識し、職員一人ひとりが、気づきや学びを重ねて行きたいと思っています。



臨床検査科における医療機器の共同利用について

臨床検査技師長 林 亮

当院ではMRI 検査やCT 検査など高額医療機器について、地域医療連携施設との共同利用を積極的に進めております。その中で、臨床検査科生理検査室においても超音波検査やトレッドミルによる負荷心肺機能検査など高額医療機器の共同利用について、3年ほど前より受け入れ体制強化に取り組んで参りました。依頼件数につきましては、地域医療施設のご協力もあり、一昨年度の月平均12.5 件から本年度は23 件程度と徐々に増加傾向を示しております（図1）。

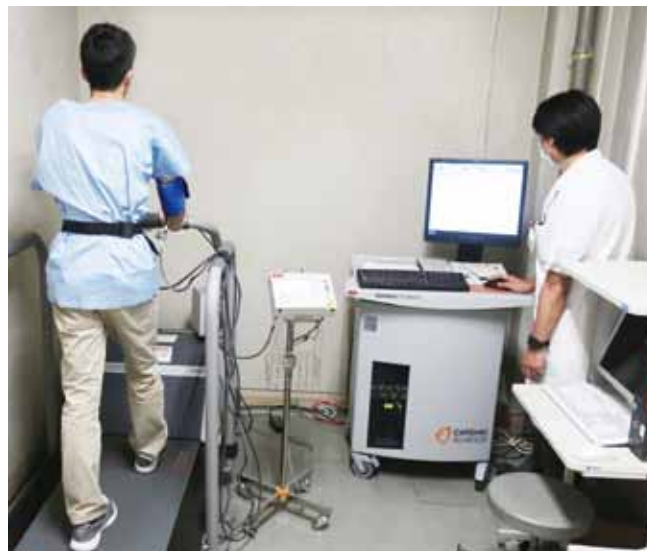


〔図1 地域医療施設よりの検査件数推移〕

生理検査室における共同利用検査項目は超音波検査（頸部、腹部、心臓、頸動脈、下肢静脈、下肢動脈）及びトレッドミルによる負荷心肺機能検査、ABI・PWV（血圧脈波伝播速度）検査、ホルター型心電図検査となっています（図2,3）。

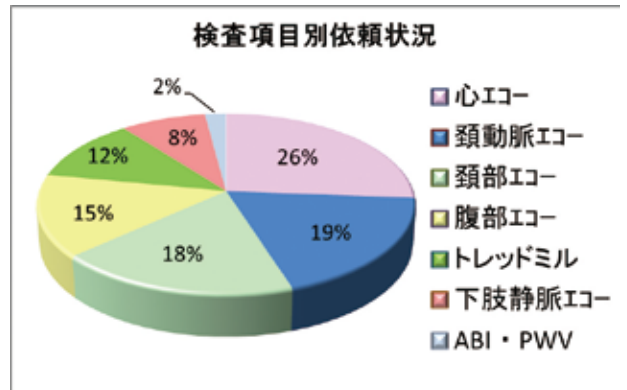


〔図2 頸動脈超音波検査〕



〔図3 トレッドミルによる負荷心肺機能検査〕

今年度の項目別依頼状況では、心エコーが50件と最も多く、次いで頸動脈エコー36件、甲状腺を含む頸部エコー35件、腹部エコー28件、トレッドミル22件、下肢静脈エコー16件となっております。項目別依頼件数の比率をお示ししますが、比較的検査時間を要し、報告書の作成が煩雑な下肢静脈エコーなど更にご依頼いただければと思います（図4）。



〔図4 検査項目別依頼状況〕

次に、ご依頼方法については、地域医療連携施設より当院検査予約担当までお電話をいただくか、「さがみサクラねっと」連携施設においては、インターネット回線を利用し、検査予約画面より空き状況をご確認の上ご依頼いただけます（図5）。「さがみサクラねっと」では検査結果の閲覧や栄養相談、診療科別のご予約も可能となっておりますので、地域医療連携施設におかれましては、是非ご検討いただければと思います。また、CT 検査やMRI 検査と併せ、同日に超音波検査などの生理機能検査を行う事も可能となっております。

なお、検査のご依頼は連携医師のご紹介が必要となります。患者様でご興味のおありの方は、掛かり付けの先生にご相談ください。



〔図5 「さがみサクラねっと」検査予約画面〕

最後になりますが、臨床検査科では今後も地域医療施設との連携強化に努めて参りたいと考えておりますので、是非生理機能検査のご依頼並びにご要望などお聞かせいただければと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

腫瘍内科って何？



腫瘍内科医長 森 隆弘

もしかすると皆様にとって腫瘍内科という名称は馴染みのないものかもしれません。その名前の通り、腫瘍（特にがん）にたいして内科的治療を中心として対応する診療科ということになります。日本では、ごく一部の大学を除いて、つい最近までこのような腫瘍（がん）治療を中心に行う内科学の講座がなかったため、一般には馴染みのない存在になっていますが、米国では以前よりMedical Oncology あるいはClinical Oncology（腫瘍内科学）という講座が内科学に設置されていました（私がかつて研究員として勤務していたコロンビア大学にも1990年代には既に設置されて、治療薬の研究だけでなくがん医療の中心的な存在となっていました）。20世紀後半より勃興してきた分子生物学（生命現象を分子レベルの研究によって解明する）によって、腫瘍（がん）の原因が遺伝子の異常によるものであること、遺伝子異常によって誘導される細胞内での増殖シグナルの増幅によって正常細胞が腫瘍化した結果が「がん」であることが明らかにされました。その結果、がん化の直接の原因となる増殖シグナルをターゲットとした分子標的薬の開発が進み、臨床上の成功につながりました。さらに最近では、腫瘍化した細胞（蓄積した遺伝子変異の結果、生体内では異物と認識されるはずですが）が、生体内で異物除去を担当する免疫による監視機構をいかにして逸脱していくのか（「がん」がどのようにして免疫による攻撃を逃れていくのか）、その分子機構も解明されてきており、それによって免疫チェックポイント阻害薬が開発され（がん

細胞の免疫逃避機構の解明により画期的な治療薬の開発を行ったことで、本庶博士に2018年のノーベル医学生理学賞が授与されたことは記憶に新しいところです）、がん薬物療法は大きな変貌を遂げつつあります。これらの医療を担当する腫瘍内科ががん医療の中心的存在となりつつあります。

これまで腫瘍の発生臓器によって治療方針が決定されてきましたが（つまり、胃がんであれば胃がんの治療方法、大腸がんであれば大腸がんの治療方法、といった臓器別での治療方法の開発）、分子レベルによって個別化された治療法（個々の遺伝子異常に基づいた治療方法の選択；例えば、胃がんでも乳がんにも多いHER2 遺伝子増幅のがんであれば、乳がんと共通に抗HER2 抗体薬による治療法が選択される。また、白血病のひとつの慢性骨髄性白血病の治療薬のイマチニブが発がんの分子機構が共通または極めて類似することから消化管腫瘍であるGISTの特効薬となった。）への方針転換にもつながりました。このように、臓器別ではなく分子レベルの評価に基づいた治療法の個別化が腫瘍内科の特徴であると言えます。

私事ではありますが、大学院の時に上梓した論文が食道癌研究の世界トップ100に選出されています。その論文ではp16遺伝子がヒトの癌で変異を起こしていることを世界で初めて報告したのですが、正常のp16はCDK4/6を抑制していることで細胞のがん化を防いでいます。このため、コロンビア大学では腫瘍内科研究員としてCDK4/6の阻害機構から治療薬の研究を行っていたのですが、それから約20年が経過し、最近、CDK4/6阻害薬が乳がんの治療薬として登場したのを目にして感慨深いものがあります。

【対象疾患】

消化器系の固形腫瘍など、悪性固形腫瘍（がんなど）が対象となりますが、すでに多くの診療科

での治療体系が完成しており、当科としては、

1. 腫瘍の診断に困っている
2. どの診療科に紹介するのかわからないような腫瘍性疾患

に対応いたします(血液系や小児の腫瘍を除く)。院内のキャンサーボードなどを通して、適切な診

療科への紹介も含めて当科で対応いたします。

また、消化器外科医長(兼任)として手術医療にも関与しています【外科学会専門医・指導医、消化器外科学会専門医・指導医、内視鏡外科学会技術認定医(食道切除術)】。

職員募集のご案内

募集職種、人数	医師事務作業補助者(非常勤職員) 若干名	一般事務【医事業務】(非常勤職員) 若干名
採用時期	随時～平成31年3月31日まで (雇用期間は、1事業年度です。ただし、その後も契約更新の可能性あり)	随時～平成31年3月31日まで (雇用期間は、1事業年度です。ただし、その後も契約更新の可能性あり)
身分	独立行政法人国立病院機構非常勤職員	独立行政法人国立病院機構非常勤職員
応募資格	【学歴】高卒以上 【必要な経験、職歴等】基本的なPC(ワード・エクセル等)操作 【必要な資格等(いずれかに該当していることが望ましい。経験のない方の応募可)】 1. 他の医療機関で医師事務作業補助者としての経験 2. 各種財団等での医師事務作業補助者に関する講座等を受講(受講証の写しを添付) ※医療関係初めの方も大歓迎(研修制度有り)。	【学歴】高卒以上 【必要な経験、職歴等】医療業務(レセプト対応)の経験がある方または未経験の方(すべての業務がレセプト知識を要するとは限りません)
職務内容	病院勤務医の負担軽減を図るための医師事務作業補助業務 1. 電子カルテにて医師の指示の下での文書作成業務 2. 文書作成システムにて医師の指示の下での文書作成業務(いずれもパソコン使用) その他、医師の指示の下での電話対応、データ入力等あり	初診・再診・紹介患者受付業務、外来レセプト点検業務、外来・入院の算定業務、入院受付業務、その他病院事務に関連する業務
勤務	独立行政法人国立病院機構非常勤職員就業規則を適用	独立行政法人国立病院機構非常勤職員就業規則を適用
勤務時間	(1) 8:30～15:00、(2) 09:30～16:00、(3) 10:30～17:00。 当初は(1)のみの勤務、いずれは(1)～(3)のシフトで勤務(休憩時間30分)で週30時間勤務	1週間当たり32時間の勤務 月～金の週5日勤務できる方 勤務時間は8:30～17:15の間で確実6～7時間(休憩時間30～60分)
給与等	独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程に基づき支給 【時間給】1,200円 【手当】通勤手当(実態に応じて、経済的、効率的な経路にて認定の上支給) 【賞与】1ヶ月当たり6,000円を上限として、年2回支給あり ※採用後、所定の32時間以上の研修を受講し、次年度も継続して雇用を希望する者は、次年度の時間給を1,320円とする昇給制度有り。 また、所定の32時間以上の研修を受講し、医師事務作業補助としての業務遂行に資する検定講座等を受講している者で、次年度も継続して雇用を希望する者は、次年度の時間給を1,400円とする昇給制度有り。	独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程に基づき支給 【時間給】1,200円 【手当】通勤手当(実態に応じて、経済的、効率的な経路にて認定の上支給) 【賞与】1ヶ月当たり6,000円を上限として、年2回支給あり
休暇等	採用日から3ヶ月経過後年次休暇5日付与、6ヶ月経過後新たに5日付与。最大年間年次休暇付与日数20日。	採用日から3ヶ月経過後年次休暇5日付与、6ヶ月経過後新たに5日付与。最大年間年次休暇付与日数20日。
保険等	勤務時間数に応じて、政府管掌保険、厚生年金保険、雇用保険に加入	勤務時間数に応じて、政府管掌保険、厚生年金保険、雇用保険に加入
提出書類	履歴書、職務経歴書等	履歴書、職務経歴書等

★2職種共通事項

応募方法	月曜から金曜(8時30分～17時00分)の間に電話連絡の上、提出書類を郵送して下さい。 書類選考の後、面接日をご連絡いたします。書類選考で不採用となった方についても、文書にて結果を通知いたします。
書類送付先	〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台18-1 独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 管理課 給与係長 中澤 TEL 042-742-8311 FAX 042-742-5314
その他	上記募集内容の詳細をお知りになりたい方は、上記書類送付先担当者までご連絡下さい。 結果のいかんに関わらず、応募書類は返送いたしませんので、ご了承下さい。 提出書類は封筒に「○○○○○○(←該当職種名) 応募書類」と朱書きしてお送り下さい。

連載

近隣協力医療施設の紹介コーナー

相模原市 南区

「おおくさ泌尿器・
内科クリニック」

院長

大草 洋 先生



みなさん、こんにちは。おおくさ泌尿器・内科クリニック院長の大草です。

当院は、よこやま泌尿器・内科クリニックを継承し2014年に開業いたしました。

泌尿器・内科クリニックとありますが、専門は泌尿器科であり、前立腺肥大症、過活動膀胱などの排尿障害を中心に、膀胱癌や前立腺癌等の悪性疾患も含めて数多く診療しております。基本方針といたしましては、可能な限り患者さんの訴えに耳を傾け、なるべく薬の数は多くしないということです。

相模原病院や北里大学病院と積極的に病診連携を図り、手術や精密検査が必要な方を連携病院へご紹介し、術後の経過が安定している方や治療方針がきまり経過が安定している方を当院で診察しております。治療を受けた病院から離れ診療所に拠点をうつすという事に対し不安を抱かれるかも知れませんが、病状が変化したときや緊急入院が必要な時は当院から病院へ連絡し、安心して治療を受けて頂けるよう手配いたします。



相模大野には泌尿器科を標榜するクリニックは当院のみであり、予約制とはいえ少しお待ちになることも多くなっています。予約の方は来院から30分以内、初診の方は遅くとも1時間以内に診療できるよう努めております。

いつも変わらぬスタッフが笑顔で皆様のお手伝いをさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



【おおくさ泌尿器・内科クリニック】

診療科：泌尿器科、内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
AM8:50 ~ PM12:00	●	●	休	●	●	●	休
PM3:20 ~ PM5:30	●	●	休	●	●	休	休

休診日：水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

電話：042-701-7950

F A X：042-701-7960

HPアドレス：<http://ookusa-clinic.com/>

住所：〒252-0303

神奈川県相模原市南区相模大野3-13-13
第2 タカビル2 階

